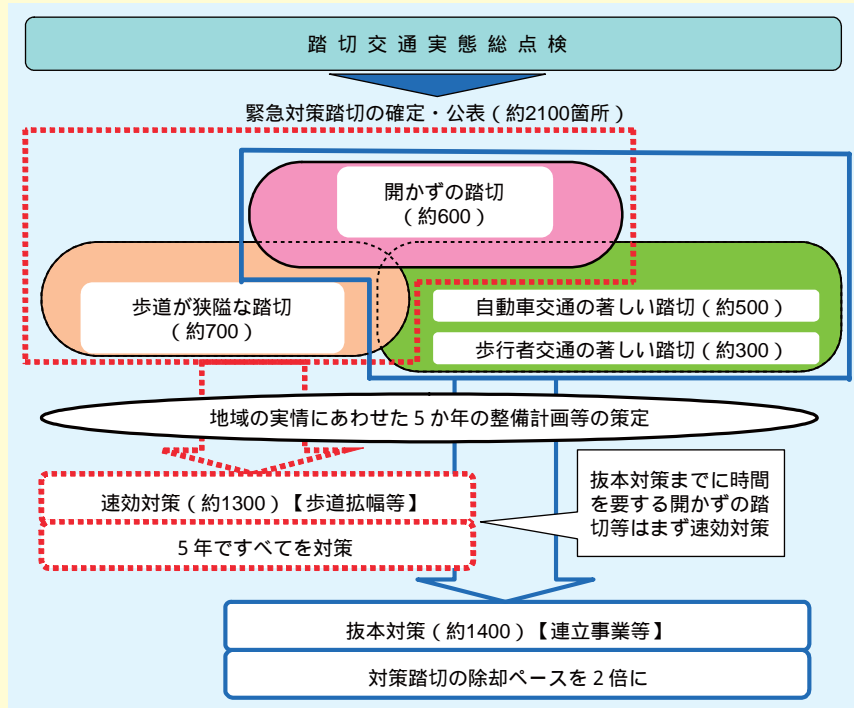


【施策の概要フロー】



注 国土交通省資料。

第5節 救助・救急体制の整備

鉄道の重大事故等の発生に対して、避難誘導，救急・救助活動を迅速かつ的確に行うため，主要駅における防災訓練の充実や鉄道事業者と消防機関，医療機関その他の関係機関との連携・協力体制の強化を図るとともに，重大事故等発生時の緊急体制の再

確認と，二次災害防止のための安全管理の徹底を図った。

また，平成17年12月に行われた全国消防救助隊シンポジウムにおいて，JR西日本福知山線列車脱線事故の救助活動事例発表を行った。

第6節 科学技術の振興

国土交通省関係の研究

ア 気象庁気象研究所等の研究

鉄道交通の安全に寄与する気象情報等の精度向上を図るため，気象庁気象研究所を中心に，第1編第1部第2章第8節1(6)ウで述べた研究等，気象・地象・水象に関する基礎的及び応用的研究を行った。

イ 独立行政法人交通安全環境研究所の研究

超低床車両を用いたLRTシステムの高度化や安全性向上に関する研究，準天頂衛星と全地球測位シス

テム（GPS）を用いた高精度測位システムを利用して，簡便な信号保安システムを構築するための研究を行った。また，鉄道から放射される磁界を測定できる測定器の開発を行い，それを用いた実態把握等を行った。これらのほか，急曲線通過時の安全性の常時観測を目的とした新しい脱線係数の測定法や鉄道事故の原因分析やリスク分析に関する研究を実施したほか，ヒューマンエラー事故防止技術の研究に着手した。